

木津川市教育委員会会議録

令和6年第12回木津川市教育委員会定例会

○日 時：令和6年12月23日（月） 午後2時30分から午後3時49分まで

○場 所：木津川市役所 5階 全員協議会室

○出席者：竹本充代教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、佐脇貞憲委員、皆川麻紀委員
（事務局）平井教育部長、八田理事兼文化財保護課長、大村理事、山口理事、福井教育部次長兼教育総務課長、中島社会教育課長

1. 開 会 教育長
 教育長あいさつ

2. 前回会議録の承認
 委員から異議なく承認された。

3. 議事
 《報告第3号 木津川市指定文化財について》
 教育長が、事務局に説明を求めた。
 事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

文化財保護審議会から答申を受けた8件について、12月13日付で告示した。指定理由は、それぞれ本市の歴史文化を考える上で重要であり、市として指定すべきものであるため。市指定文化財は合併前の指定を引き継いだ31件、合併後指定した17件を合わせて48件となった。

【質疑】

教育長：市として文化財を指定することは、保存や流失を防ぐ上で重要なことであると考ええる。資料の写真を見ると、同じ役行者の彫刻でも全く違う。

事務局：役行者像としては神童寺所有のスタイルが正統だが、木製の窟内に置かれているのは珍しい。また海住山寺の像が足首あたりまで裾で覆っているのは珍しい。

教育長：海住山寺などには、まだ指定できていないが、重要なものもあるのではないか。

事務局：担当としては、指定にふさわしいと考えているものは、まだ多くある。

教育長：市坂区所有の石像はきれいに残っている。

事務局：石仏は野ざらしになっていることが多いが、このケースは堂内にまつられていたため保存状態が良い。また銘文から室町時代の大永4年（1524年）作とわかり、本年でちょうど500年になる。

また、住民がお参りするなど地域の方から大事にされている。現在はひざ下が隠れた状態になっているが、全身成形されている。また長谷寺の観音と同じように錫杖を持っており、台座も長谷観音と同じように方形のものであると推測される。

委員：基準作とは何か。

事務局：制作年代は、年号などが作品に記されていればわかるが、そういったものばかりではない。そこで、はっきりとわかるものと構造や様式などを比較し、制作年代を推定することになる。その基準となる作品のことを言う。

委員：神童寺には多くの重要文化財もあり、今回指定した本尊蔵王権現像も大きく彩色もよく残っているが、これまでなぜ指定されていなかったのか。

事務局：今回指定した同寺所有の蔵王権現像は役行者が修行中に自ら制作したと伝えられているが、実際は室町時代の作であると考えられている。かつての彫刻史研究の主流が鎌倉時代までであり、室町時代以降は、価値の高いものが少ないとされて、文化財として指定されていないものも多い。最近では中世の資料として見直されてきており、保護の対象を広げる意味でも指定されだしている。

委員：重要美術品として指定されていたように思うが解除されているのか。

事務局：重要美術品は文化財保護法が施行される前の制度によるものであるが、指定解除はされていない。ただし、新法施行後の補助金等の支援措置の対象とはなっていない。

4. 教育長報告（令和6年11月21日～令和6年12月23日）

教育長が、事業報告に基づき報告を行った。中でも次の点について、説明があった。

- ・ 11月22日 第35回相楽地方小学校体育連盟駅伝大会がロートフィールド奈良で開催された。昨年度までは市内の不動川公園グラウンド周辺で開催されていたが、警備や安全面から考慮して変更された。
- ・ 11月28日 令和6年第4回木津川市議会が開会した。
- ・ 11月30日 第34回京都府スポーツ少年団山城ブロック交流フェスティバルが恭仁宮跡で開催された。参加者はスタンプラリーなどの行事を楽しんでいた。
- ・ 12月 1日 第9回京都山城地域親善ソフトボール大会が木津川台小学校で開催された。ミドル世代以上の参加者が多かった。
- ・ 12月 4日 加茂小学校創立150周年記念行事が開催され、学年ごとの発表などを参観した。
- ・ 12月 8日 人権ポスターコンクール表彰式に出席した。
- ・ 12月 9日 13日まで4日間、市議会一般質問に対応した。

- ・ 12月17日 市議会が閉会した。

【質疑】

委員：小学生の駅伝大会は、今後も同じ場所での開催になるのか

教育長：警備や安全面を考慮して変更された。警備人数の減や準備・後片付けの時間が短縮されることや、これまで土曜日開催としていたが、今年度は金曜日の午前で授業を終了し、午後に大会を開催することにより教員の勤務時間が短縮され、働き方改革にもつながる。今後も同様の開催になると思われる。

5. その他

(1) 今後の行事予定

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

(2) 令和6年第4回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について

事務局が、資料に基づき説明を行った。

〔説明〕

令和6年第3回市議会定例会での一般質問と答弁について説明。

【質疑】

教育長：文部科学省から令和5年度の不登校数等について発表があり、前年度30万人から34万人に増加したとのことであった。市議会議員から、その件についての質問や要望もあった。

委員：小中学校の統廃合について、木津高校の生徒との「高校生と議会のつどい」で高校生から質疑があったとあるが、具体的にどういった質問だったのか。

事務局：山城地域の高校生から、上狛小学校と棚倉小学校が統廃合になると聞いたが、その場合、移動手段や運営はどうなるのか。という質問があった。それに対して、議会からは児童生徒数が減少したときの方法はいろいろある。どういった方法を取るか、今は決まっていない。加茂地域でも同様の心配がある。学校だけではなく、総合的な問題であると回答されたようである。

教育長：統廃合されると困るという意見ではなく、何年先にどうなるかを知らせてほしいということであったようである。

委員：教育支援センターでの新事業チャックスルームとはどういったことをしているのか。

事務局：保護者の相談場所として、定期的に参加者を募り、臨床心理士が子育てや教育の悩み事の相談に応じている。継続的に実施している。

委 員：対象はこどもの不登校で悩む保護者か。

事務局：不登校以外の件でも保護者の不安解消のため相談に応じている。

教育長：支援センターのホームページにも掲載している。保護者の困りごと、心配ごとを軽減するため、相談する機会をつくっている。

(3) 令和6年度木津川市二十歳のつどいについて

事務局が、資料に基づき説明を行った。

【質疑】

委 員：昨年度まで主催者として壇上に席があったが、今年度はどうなるのか。

事務局：今年度も同様である。

委 員：初めて使用する会場だが、駐車場や会場への案内表示はされているのか。

事務局：係員も配置する。来賓用の駐車場を確保しており、駐車場から会場へは表示がある。

委 員：参加者の中には20歳になっていない人も含まれるか。

事務局：対象者は学年で区分している。

委 員：市外在住者は出欠を事前に確認しているのか。

事務局：市内在住者は住民基本台帳記載の住所へ案内を送付している。市外在住者については、ホームページ等で広報しているので、参加希望の連絡があれば通知している。

委 員：市外転出の理由は問わないのか。

事務局：自己申告による参加なので、転出の理由や時期は問わない。

(4) 次回教育委員会は、令和7年1月27日（月）午前に木津川市役所で開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。